

平成16年度に国土交通省環境行動計画モデル事業実施地域として選定された地域の事業構想一覧

カテゴリー	テーマ	応募主体	概要	P Tの開催状況	平成18年度の実施内容	
E S T (※)	1-1	人と環境を重視した新しい時代の都心交通の創出「さっぽろ都心交通計画推進事業」	札幌市	公共交通を軸とした交通システムの充実、適正な自動車等の利用による交通の円滑化、道路空間の再配分による都心再生の具体化等により、人と環境を重視した新しい時代の都心交通の創出を目指すもの	H17.2.14に「国土交通省環境行動計画（EST）モデル事業計画推進プロジェクトチーム委員会」を設立。 以降、5回開催しH18.8.31に第6回を開催	隔地タクシール社会実験等を実施 (H18予算額：約25百万円)
	1-2	環境負荷の小さい交通への転換（環境的に持続可能な交通（EST）への転換）	仙台市	公共交通による移動時間短縮施策、公共交通サービス向上施策、TDM施策、景観・緑化事業等の推進により軌道系交通機関を基軸とした集約型市街地の形成や杜の都にふさわしい緑美しい都市の実現を目指すもの	H14.3.22に設立した「公共交通利用促進検討会」を活用。 以降、H17.1.25、H17.2.15に開催	JR南仙台駅東口の駅前広場の整備事業等を実施 (H18予算額：約118億円)
	1-3	「つくばエクスプレス」開業に伴う総合的な公共交通機関の利用促進	柏市 流山市	つくばエクスプレス開業に併せたバス路線の再編を中心に、コミュニティバスの導入、駅前広場や駐輪場の整備等による公共交通機関への利用転換や自転車を活用したまちづくり、低公害車の導入等による環境負荷の軽減を図るもの	H17.2.4に「柏市・流山市環境行動計画モデル事業プロジェクトチーム」を設立。 以降、H18.3.24に開催	コミュニティバス実証実験等を実施 (H18予算額：約1.7億円)
	1-4	三郷市及び八潮市全域をステージとした持続可能な交通環境づくりモデル事業	三郷市 八潮市	つくばエクスプレス開業に併せたバス交通ネットワークの再編、バス共通ICカードの導入、交通モード相互の情報提供システム整備等による公共交通利用促進策、三郷駅周辺の交通円滑化を進め、環境的に持続可能な交通環境の創出を目指すもの	H17.2.7に「三郷市・八潮市地域ESTモデル事業プロジェクトチーム」を設立。 以降、H18.3.15に開催	コミュニティバス導入事業等を実施（バス事業者主体） (H18予算額：約22百万円)
	1-5	富山市における環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業	富山市	富山港線へのLRT導入等公共交通の整備や交通拠点整備等による公共交通機関への転換を図るとともに、都市内道路空間の整備等交通円滑化、都心居住の推進により中心市街地の活性化を図り、環境にもやさしく持続可能な都市構造を目指すもの	H17.1.21に「富山市環境行動計画モデル事業プロジェクトチーム」を設立。 以降3回を開催し、H18.3.27に第4回を開催	富山港線路面電車化（LRTの導入）等を実施 (H18予算額：約94億円)
	1-6	地方都市圏における公共交通利用促進による地球温暖化防止実践活動の検証と定着	三重県	三岐鉄道の整備及び駅周辺事業を中心に、鉄道・バス利用者の利便性向上を図るとともに、パーク・アンド・ライドや普及啓発活動に取り組むことにより、三重県北勢地区において環境負荷の小さい交通への転換を目指すもの	H17.2.3に「三重県環境行動計画モデル事業推進協議会」を設立。 以降、H17.8.9、H18.7.24に開催	桑名駅東西の区画整理、自由通路整備等を実施 (H18予算額：約18億円)

カテゴリー	テーマ	応募主体	概要	P Tの開催状況	平成18年度の実施内容
1-7	交通IT都市環境改善プロジェクト「人と環境にやさしい先進的な交通まちづくりを目指して」	豊田市	通勤等のTDM施策の推進や、ITS技術を活用した総合交通対策に取組み、公共交通の利用促進や道路交通の円滑化等とあわせ、「人と環境にやさしい先進的な交通まちづくり」を進めるもの	H17.2.9に「豊田市ITS推進会議 環境行動計画モデル事業ワーキンググループ」を設立。以降、H17.2.16、H18.7.4に開催 H18.7.4開催WGにて名称を「豊田市環境行動計画モデル事業推進協議会」に変更。	道路交通や観光等の目的地情報等の総合的な情報提供事業、国道153号足助バイパス事業等を実施 (H18予算額：約116億円)
1-8	京都都市圏における環境負荷が小さく便利で快適な移動環境づくり	京都府	京都議定書策定の地で、過度に自動車に依存したライフスタイルや土地利用を見直し、鉄道へのアクセス改善や通勤交通需要マネジメント等を含めた総合的な施策の組合せにより、環境負荷が小さく持続可能な都市圏づくりを進めるもの	H17.11.10に「京都都市圏EST研究会」を設立。以降3回を開催し、H18.10.31に第4回を開催	JR亀岡駅前広場整備事業等を実施 (H18予算額：約7.6億円)
1-9	古都奈良における平城遷都1300年記念事業に向けた交通流対策	奈良県	多くの来訪者が見込まれる平城遷都1300年記念事業に向け、公共交通機関の利用促進を図ることを基本に、道路等交通基盤整備やマイカー通勤の自粛等、ハード・ソフト両面から効果的に施策を進め、環境的に持続可能な交通を目指すもの	H17.2.1に「奈良EST(環境的に持続可能な交通)モデル事業検討協議会」を設立。以降、H17.12.22、H18.3.24に開催	パーク＆ライドシステム推進事業等を実施 (H18予算額：約2.8億円)
1-10	神戸の都心地域における環境的に持続可能な交通体系の確立	神戸市	歩行者に利用しやすいまちづくりと利便性の高い交通手段の整備の連携により、自動車からのCO2排出削減を図るなど神戸の都心地域における環境的に持続可能な交通体系を確立しようとするもの	H17.8.19に「神戸EST推進協議会」を設立。以降5回を開催し、H18.11.17に第6回を開催	市営バスの低公害車の導入等を実施 (H18予算額：約20億円)
1-11	松山まちづくり交通計画の推進	松山市	交通結節点整備、サイクル&バスライド等の公共交通機関の利用促進や、交差点改良等の道路整備、低公害バスの導入等、総合的な交通施策を講じることにより、交通分野の環境負荷低減を図るもの	H16.6.28に設立した「松山市のバス利用促進等に関する総合的な計画策定協議会(松山市オムニバスタウン計画策定協議会)」を活用。以降、H18.3.23に開催	低床式路面電車の導入等を実施 (H18予算額：約37億円)
2-1	持続可能なエコロジカルネットワークモデル事業	町田市	小野路(おのじ)川の緑の連続性を創出し、流域内へのビオトープ設置、防災調整池の多自然化等により自然度の高い区間とのネットワーク形成を図るとともに、湧水の有効利用により河川の水量・水質改善を図るもの。	H17.2.17に「小野路川の歴史と水に学ぶ川づくり検討会」を設立。以降、4回を開催しH18.6.29に第5回を開催	小野路川河川整備事業等を実施 (H18予算額：約5百万円)
2-2	水と緑の回廊事業	横浜市	水・緑の有機的な環境ネットワークを構築する「水と緑の回廊形成」を将来像とし、公園、河川、緑化、下水道、緑地保全等の事業を推進し、総合的な環境整備を図ることにより、ヒートアイランド現象の緩和等、良好な都市環境の実現を目指すもの。	H17.1.20に「水と緑のあり方プロジェクト」を設立。以降8回を開催し、H18.11.10に第8回を開催	具体的な整備計画の策定等を実施

カテゴリー	テーマ	応募主体	概要	P Tの開催状況	平成18年度の実施内容	
水と緑	2-3	堀川再生の推進	名古屋市	堀川は名古屋の母なる川であるが、汚い川というイメージが強い。そこで、豊かな生物生息環境の確保並びに自然の豊かな触れ合いの場及びにぎわいの場の空間の確保を目的として、各種市民団体等との協働により、水と緑のネットワーク等の構築を目指すもの。	H17.1.27に「堀川再生の推進プロジェクトチーム」を設立。 以降、H17.2.14、H18.3.29に開催	河川環境整備事業（浄化）等を実施 (H18予算額：約7.6億円)
	2-4	ダイオキシン類に汚染された河川の底質の浄化	大阪府	ダイオキシン類に汚染された底質の浄化手法が確立されていない状況の下、底質の環境基準値を上回る数値が確認された神崎川ほか6河川において、試験施工などによるフィードバックを実施しつつ、対策を実施するもの。	H17.2.7に「ダイオキシン類に汚染された河川の底質の浄化事業プロジェクトチーム」を設立。 以降、H18.3.29、H18.8.8に開催	汚染された底質について除去などの対策を兼ねた試験施工等を実施 (H18予算額：約3.5億円)
	2-5	人間個人のための水から環境に重きをおいた公のための水に再配分する	大阪府	都市化が進み、水環境が著しく悪化した寝屋川流域において、河川、下水道、農林、環境部局及び流域住民が一体となり、流域全体で生活排水対策、水質改善、水量確保、水辺環境の改善に取り組むもの。	H17.1.20に「寝屋川流域協議会水環境部会」を設立。 以降、H18.5.10に開催	下水道整備事業等を実施 (H18予算額：約234億円)
海域	3-1	尼崎西宮芦屋港海域環境再生モデル事業	兵庫県	尼崎21世紀の森構想の整備推進と一体的に中央緑地周辺の運河・水路内の水質改善を図り、尼崎臨海部の現状の海の色であるこげ茶色から青い海を取り戻すことを目指すもの。	H17.1.28に「尼崎西宮芦屋港海域環境再生モデル事業プロジェクトチーム」を設立。 以降、H17.2.9に開催	尼崎21世紀の森整備等を実施 (H18予算額：約5.8億円)
	3-2	「中城湾港湾環境保全計画」及びそのアクションプランの策定と実行	沖縄県	中城湾の湾内環境改善のため、自然との共生を目標として関係者との連携・協力を図りながら、小河川・小排水路の流末に存在する湿地の再生や海岸の再生等の取り組みにより、中城湾の環境再生を目指すもの。	H17.1.26に「中城湾港行政連絡会」を設立。 以降、H18.2.14、H18.10.31に開催	泡瀬地区埋立事業における湿地や海浜環境の改善のための調査等を実施 (H18予算額：約77百万円)
その他	4-1	住民と一体となり港湾施設等を活用した環境負荷低減モデル事業	大船渡市	貨物等の輸送を海上輸送にモーダルシフトすることによりCO2排出量を削減する。また、目標を効果的に達成するため住民と一体となり港湾を活用した「環境配慮型のまちづくり」を目指すもの。	H17.1.17に「大船渡環境行動計画プロジェクトチーム」を設立。 以降、H17.2.9、H17.6.28に開催	カラー舗装・街路緑化・モニュメント・照明施設整備等を実施 (H18予算額：約43百万円)
	4-2	環境と共生する豊かで持続可能な地域づくり「たはらエコ・ガーデンシティ構想」	田原市	市内の河川及び三河湾の水質悪化への対応並びに各産業のバランスある発展が求められている田原市において、風力発電、地域で栽培した菜種油の燃料利用等のエコエネルギーの活用及び交通網の整備等によるコンパクトシティの具体化等の複合的な対策を行うもの。	H17.1.18に「たはらエコ・ガーデンシティ推進会議」を設立。 以降3回を開催し、H18.5.24に第4回を開催	加治地区における豊かな自然環境を活かした生活拠点の整備等を実施 (H18予算額：約125億円)

(※) E S T (Environmentally Sustainable Transport) : 環境的に持続可能な交通

平成17年度に国土交通省環境行動計画モデル事業実施地域として選定された地域の事業構想一覧

	テーマ	応募主体	概要	P Tの開催状況	平成18年度の実施内容
1	「環境先進都市～八戸」の理念に相応しい環境的に持続可能な交通(ES T)への転換	八戸市	バスを中心とした公共交通の再編・再構築等により公共交通への利用転換を促進し、トランジットモールの導入を検討することによって都心の再生を図るほか、低公害車バスの導入やITSの活用によるサービス改善、渋滞緩和や歩行空間の確保による道路整備を推進する。	H18. 1. 5に「八戸市E S Tモデル事業推進会議」を設置以降、H18. 1. 17に開催	高規格幹線道路整備等を実施 (H18予算額：約45億円)
2	環境共生モデル都市圏における地球環境にやさしい交通体系づくり	神奈川県	平成17年11月22日に認定された「神奈川県カーシェアリング利用促進特区」にあわせて、民間事業者によるカーシェアリングの県内拡大を図ること、及び鉄道・バスの公共交通利便性向上方策により自家用自動車から公共交通機関等への転換を図ることによって、地球環境にやさしい交通体系の構築を目指す。	H18. 2. 8に「地域交通研究会(E S T部会)」を設置以降、H18. 3. 17、H18. 11. 11に開催	公共交通機関の利用促進による自動車利用抑制策の検討調査を実施 (H18予算額：約4百万円)
3	はだの交通スリム化推進事業	秦野市	近隣工業団地等における通勤時の交通マネジメント、PTPSによるバス走行改善、ノーマイカーデー、短距離区間の自転車通勤支援策等を行い、公共交通の利用を促進し自家用自動車に過度に依存しない広域的な街づくり・交通体系の構築を図る。	H17. 8. 2に設立した秦野市交通需要マネジメント検討会を活用以降3回を開催し、H18. 8. 9に第4回を開催	パーク&バスライド等実施に伴う渋滞緩和、環境負荷軽減、企業共同バス運行実証実験等を実施 (H18予算額：約5百万円)
4	新潟都市圏総合都市交通計画におけるバス利用の推進	新潟市	バスを中心とした公共交通の再編・再構築、バスの運行状況の情報提供、パーク&バスライド等により公共交通への利用転換を促進し、新潟市の広域交通体系において公共交通による都心への結びつきを強くすることによって、賑わいのある都心の構築を図る。	H18. 1. 25に「新潟市環境行動計画モデル事業プロジェクトチーム」を設立以降、H18. 2. 8、H18. 8. 29に開催	バス路線の再編成による乗継改善事業等を実施 (H18予算額：約3. 3億円)
5	金沢都心部の渋滞解消と公共交通の利用促進による環境負荷軽減	石川県	金沢市中心部周辺に設けた駐車場を有効活用したパーク&バスライド等を実施し、市中心部のバス交通の見直しや渋滞の原因であるボトルネック交差点を改良することにより、公共交通の利用促進等による環境負荷の軽減された観光都市を目指す。	H18. 2. 8に「金沢都心部環境行動計画モデル事業策定プロジェクトチーム」を設立	環境に配慮したバスの導入等を実施 (H18予算額：約17億円)
6	NPOとの協働による環境に配慮したまちづくりモデル事業	大阪府	NPO等との協働により、湧水等の利用やビオトープ池の設置、環境配慮型のバスの導入などを行い、環境に配慮した新しいまちづくりを目指す。	H18. 4. 14にプロジェクトチームを設立以降5回を開催し、H18. 11. 20に第6回を開催	公園・緑地及び里山などを活用した自然環境体験学習等を実施 (H18予算額：2百万円)

	テーマ	応募主体	概要	P Tの開催状況	平成18年度の実施内容
7	大阪市における環境負荷の少ない都市内移動システムの確立	大阪市	地域一体型の事業者向けや学校向けのモビリティマネジメント、マップ等を用いたTDM等の啓発事業を実施し、ICカードの導入や駅のバリアフリー化により鉄道・バスによる公共交通利用促進を図るほか、交通流の円滑化事業等を組み合わせることにより都市内移動の環境負荷軽減を目指す。	H18.3.30に「環境にやさしい交通を進める検討会」を設立以降、H18.9.6に開催	環境ロードプライシング社会実験等を実施 (H18予算額：約4.3億円)
8	豊中市における人と街に優しい持続可能な交通をめざしてーとよなか夢創(輸送)プランの推進ー	豊中市	条例に基づくエコドライブの推進、自転車・公共交通利用マップ等による交通環境教育の実施、カーシェアリング等の実証実験のほか、低公害車導入アクションプランの推進、大阪大学と連携した持続可能な都市の評価とPR、バリアフリー施設の設置による公共交通への利用転換を図る。	H17.8.31に設立した「地域交通施策・省エネルギー詳細ビジョン策定委員会」を活用 H18.9.27に「豊中市ESTビジョン策定委員会」を設立	コミュニティバスの導入検討等を実施 (H18予算額：約9.5百万円)
9	尼崎西宮臨海部における環境にやさしい交通基盤・システムの構築モデル事業	兵庫県	国道43号と阪神高速湾岸線に挟まれた尼崎臨海地域における排気ガスによる大気への負荷を低減するため、バスの試験運行を開始し、自転車道の整備や歩行空間の確保を図ることによる自動車利用を抑制を図るほか、低騒音・透水性舗装の実施、木製防護柵等の道路施設を整備する。	H18.2.7に「尼崎西宮臨海部における環境にやさしい交通基盤・システムの構築モデル事業プロジェクトチーム」を設立	都市計画道路事業による排水性舗装等を実施 (H18予算額：約10億円)
10	広島における「ひと」・「環境」にやさしい交通体系づくり	広島市	路面電車のLRT化や交通結節点の改善、低公害バスの導入等による公共交通利用の推進、自動車専用道路の整備や都心を通過する自動車交通の排除、パーク&ライドや時差通勤、ノーマイカーデー、モビリティマネジメントによる交通需要マネジメントの推進等により、人間を中心に据えた環境への負荷の小さい持続可能な都市の形成をめざす。	H18.2.8に「広島市環境行動計画モデル事業プロジェクトチーム」を設立	広島高速道路の整備等を実施 (H18予算額：約131億円)
11	福山都市圏交通円滑化総合計画におけるソフト主体施策の実現化	福山市	交通円滑化総合計画に基づく地域における渋滞緩和を図るため、ノーマイカーデーを中心とした通勤交通対策の実施、学校教育におけるTFP調査の実施、公共交通機関の利便性向上を目指したレンタサイクル事業や駅前広場の整備により環境負荷軽減を推進する。	H14.11.26に設立した「福山都市圏交通円滑化総合計画推進委員会」を活用 以降、H18.6.5に開催	交通結節点開園を目的とした福山駅前広場整備事業等を実施 (H18予算額：約3.0億円)